

ゼロメートル地帯広域防災活動拠点（木曾三川下流域 I・愛西市）の概要

1 全体概要

(1) 所在地

愛西市大井町浦田面 268 番地
(旧永和荘（県営老人休養ホーム）跡地)

(2) 規模等

- 敷地面積 : 約 13,000 m²
- 上面部面積 : 約 7,400 m²
- 盛土高 : 約 3m
(中央新幹線事業に伴う建設発生土の活用)

(3) 防災拠点機能

- ヘリポート
- 救出・救助ボート船着場
- 防災倉庫

(4) 整備費

約 11 億円

(5) 経緯

- 2018 年度 旧永和荘の取壊
- 2019 年度 地盤改良、敷地造成
- 2020 年度 盛土観測
- 2021 年度 上面部整備
- 2022 年度 防災倉庫建築 供用開始 (2023 年 3 月 18 日供用)



【拠点完成写真】

3 拠点運用イメージ

- 避難ビルに避難した人々や自宅の 2 階に取り残された人々をボートやヘリコプターにより迅速に救助。
- 効率的な救助・救出活動を実施するため、救助現場と拠点をピストンにて活動。
- この拠点到救出された救助者をまとめて大型ヘリコプターにより、浸水地域外（内陸地）へ搬送。



2 防災倉庫の概要

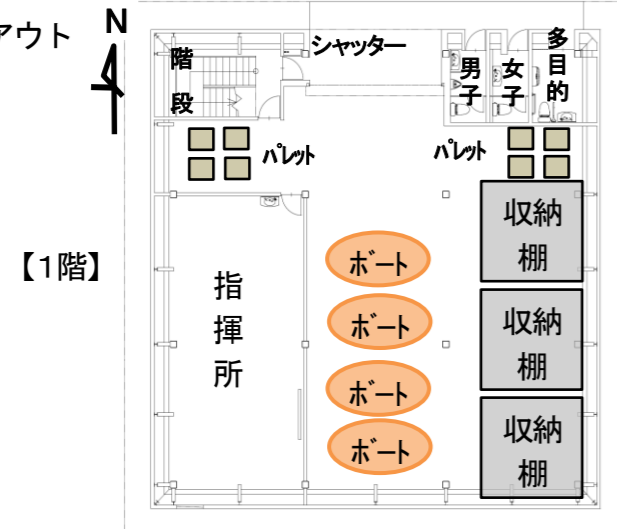
(1) 仕様

- 構造・階数 : 鉄骨造・地上 2 階
- 建築面積 : 363 m²
- 延べ床面積 : 500 m²
- 最高高さ : 8.3 m

(2) 主な資機材

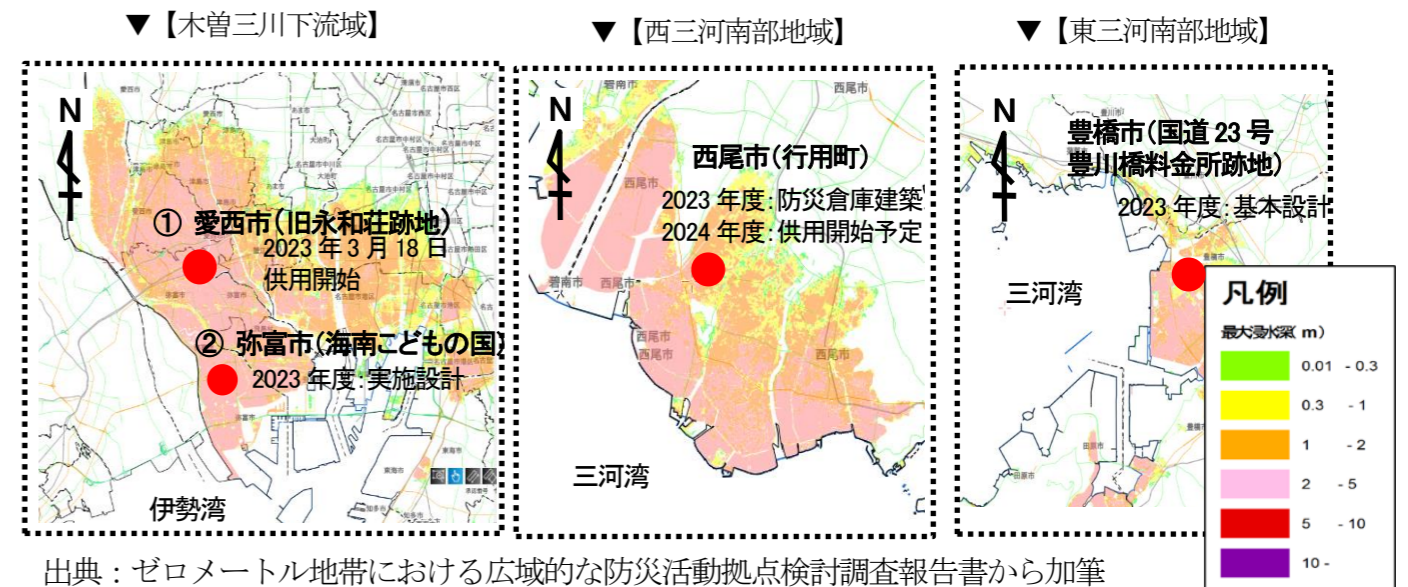
資機材	用途	数量
ボート	救出・救助用	4艇
照明(バルーンライト等)	発電機を兼ねる	2個
その他(ヘルメット、ライフジャケット、ロープ、救急工具等)	救出・救助用(予備含む)	5セット
飲料水(ペットボトル)	災害救助用	500mℓ × 3,000本
毛布	災害救助用	500枚

(3) レイアウト



【倉庫内の様子】

参考：県内の広域防災活動拠点の状況



出典：ゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点検討調査報告書から加筆